

教科	理科	学年	第6学年
----	----	----	------

単元名	単元のまとまりの評価規準		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1. ものが燃えるしくみ	物体が燃えるときには、空気中の酸素が使われて二酸化炭素ができることを理解している。 燃焼のしくみについて、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択し、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。	燃焼のしくみについて、問題を見だし、予想や仮説をもとに、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 燃焼のしくみについて、実験などを行い、ものが燃えたときの空気の変化について、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決している。	燃焼のしくみについての事物・現象に進んでかかわり、粘り強く、他者とかかわりながら問題解決しようとしている。 燃焼のしくみについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
2. ヒトや動物の体	体内に酸素が取り入れられ、体外に二酸化炭素などが出されていることを理解している。 食べ物、口、胃、腸などを通る間に消化、吸収され、吸収されなかったものは排出されることを理解している。 血液は、心臓のはたらきで体内を巡り、養分、酸素および二酸化炭素などを運んでいることを理解している。 体内には、生命活動を維持するためのさまざまな臓器があることを理解している。 ヒトや他の動物の体のつくりとはたらきについて、実験、資料調べなどの目的に応じて、器具や機器などを選択し、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。	ヒトや他の動物の体のつくりとはたらきについて、問題を見だし、予想や仮説をもとに、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 ヒトや他の動物の体のつくりとはたらきについて、実験、資料調べなどを行い、体のつくりと呼吸、消化、排出及び循環のはたらきについて、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決している。	ヒトや他の動物の体のつくりとはたらきについての事物・現象に進んでかかわり、粘り強く、他者とかかわりながら問題解決しようとしている。 ヒトや他の動物の体のつくりとはたらきについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
3. 植物のつくりとはたらき	植物の葉に日光が当たるとでんぷんができることを理解している。 根、茎及び葉には、水の通り道があり、根から吸い上げられた水はおもに葉から蒸散により排出されることを理解している。 植物は、水及び空気を通して周囲の環境とかかわって生きていることを理解している。 植物の体のつくりとはたらきについて、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択し、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。	植物の体のつくりとはたらきについて、問題を見だし、予想や仮説をもとに、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 植物の体のつくりとはたらきについて、実験などを行い、体のつくり、体内の水などゆくえ及び葉で養分をつくるはたらきについて、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決している。	植物の体のつくりとはたらきについての事物・現象に進んでかかわり、粘り強く、他者とかかわりながら問題解決しようとしている。 植物の体のつくりとはたらきについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

4. 生物どうしのつながり	生物は、水および空気を通して周囲の環境とかかわって生きていることを理解している。 生物の間には、食う食われるという関係があることを理解している。 ヒトは、環境とかかわり、工夫して生活していることを理解している。 生物と環境について、観察、資料調べなどの目的に応じて、器具や機器などを選択し、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。	生物と環境について、問題を見だし、予想や仮説をもとに、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 生物と環境について、観察、資料調べなどを行い、生物と環境とのかかわりについて、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決している。	生物と環境についての事物・現象に進んでかかわり、粘り強く、他者とかかわりながら問題解決しようとしている。 生物と環境について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
5. 水よう液の性質	水溶液には、酸性、アルカリ性及び中性のものがあることを理解している。 水溶液には、気体が溶けているものがあることを理解している。 水溶液には、金属を変化させるものがあることを理解している。 水溶液の性質やはたらきについて、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択し、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。	水溶液の性質やはたらきについて、問題を見だし、予想や仮説をもとに、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 水溶液の性質やはたらきについて、実験などを行い、溶けているものによる性質やはたらきの違いについて、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決している。	水溶液の性質やはたらきについての事物・現象に進んでかかわり、粘り強く、他者とかかわりながら問題解決しようとしている。 水溶液の性質やはたらきについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
6. 月と太陽	月の輝いている側に太陽があること、また、月の形の見え方は、太陽と月との位置関係によって変わることを理解している。 月の形の見え方について、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択し、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。	月の形の見え方について、問題を見だし、予想や仮説をもとに、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 月の形の見え方について、実験などを行い、月の位置や形と太陽の位置との関係について、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決している。	月の形の見え方についての事物・現象に進んでかかわり、粘り強く、他者とかかわりながら問題解決しようとしている。 月の形の見え方について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
7. 大地のつくりと変化	土地は、礫、砂、泥、火山灰などからできており、層をつくって広がっているものがあること、また、層には化石が含まれているものがあることを理解している。 地層は、流れる水のはたらきや火山の噴火によってできることを理解している。 土地は、火山の噴火や地震によって変化することを理解している。 土地のつくりと変化について、観察、実験、資料調べなどの目的に応じて、器具や機器などを選択し、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。	土地のつくりと変化について、問題を見だし、予想や仮説をもとに、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 土地のつくりと変化について、観察、実験、資料調べなどを行い、土地のつくりやでき方について、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決している。	土地のつくりと変化についての事物・現象に進んでかかわり、粘り強く、他者とかかわりながら問題解決しようとしている。 土地のつくりと変化について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

8. てこのはたらき	力を加える位置や力の大きさを変えると、てこを傾けるはたらきが変わり、てこがつり合うときにはそれらの間に規則性があることを理解している。 身の回りには、てこの規則性を利用した道具があることを理解している。 てこの規則性について、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択し、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。	てこの規則性について、問題を見いだし、予想や仮説をもとに、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 てこの規則性について、実験などを行い、力を加える位置や力の大きさとてこのはたらきとの関係について、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決している。	てこの規則性についての事物・現象に進んでかかわり、粘り強く、他者とかかわりながら問題解決しようとしている。 てこの規則性について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
9. 発電と電気の利用	電気は、つくりだしたり蓄えたりすることができることを理解している。 電気は、光、音、熱、運動などに変換することができることを理解している。 身の回りには、電気の性質やはたらきを利用した道具があることを理解している。 電気の性質やはたらきについて、実験、資料調べなどの目的に応じて、器具や機器などを選択し、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。	電気の性質やはたらきについて、問題を見いだし、予想や仮説をもとに、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 電気の性質やはたらきについて、実験、資料調べなどを行い、電気の量とはたらきとの関係、発電や蓄電、電気の変換について、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決している。	電気の性質やはたらきについての事物・現象に進んでかかわり、粘り強く、他者とかかわりながら問題解決しようとしている。 電気の性質やはたらきについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
10. 自然とともに生きる	生物は、水および空気を通して周囲の環境とかかわって生きていることを理解している。 生物の間には、食う食われるという関係があることを理解している。 ヒトは、環境とかかわり、工夫して生活していることを理解している。 生物と環境について、観察、資料調べなどの目的に応じて、器具や機器などを選択し、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。	生物と環境について、問題を見いだし、予想や仮説をもとに、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 生物と環境について、観察、資料調べなどを行い、生物と環境とかかわりについて、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決している。	生物と環境についての事物・現象に進んでかかわり、粘り強く、他者とかかわりながら問題解決しようとしている。 生物と環境について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。